

新型コロナウイルス関連海洋安全保障情報（2020年12月1日～12月31日）
（2021年1月18日現在）

本項は「海洋情報 FROM THE OCEANS」において収集・発信している海洋安全保障情報の中でも、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関連した海洋安全保障情報を取りまとめたものである。本項は公表された情報を海洋政策研究所が要約して作成したものであり、情報源を括弧書きで表記するとともにインターネットによるリンク先を掲載した。また、リンク先 URL はいずれも当該記事参照時点でアクセス可能なものである。

なお、本件関連情報については COVID-19 への対応そのものをテーマとした論考が減少傾向にあることから、2021年2月以降は随時掲載する予定である。

(1) 12月7日 The U.S.-Japan Alliance in 2020 AN EQUAL ALLIANCE WITH A GLOBAL AGENDA(CSIS, Dec 7, 2020)

(<https://www.csis.org/analysis/us-japan-alliance-2020>)

CSIS, Dec 7, 2020

Richard L. Armitage, Joseph S. Nye

米シンクタンク Center for Strategic and International Studies(CSIS)は12月7日付で Richard L. Armitage、Joseph S. Nye らによる “The U.S.-Japan Alliance in 2020 AN EQUAL ALLIANCE WITH A GLOBAL AGENDA” と題する政策提言（いわゆる「アーミテージ・ナイレポート」）を掲載し、ここで Armitage らは台頭する中国への対応も念頭にいわゆるファイブアイズへの日本の加入を含む日米協力強化を訴えているが、過酷なパンデミック状況下、感染症対策についても日米協力、広範な国際協力の必要性について言及している。

(2) 12月7日 China Is Both Weak and Dangerous (Foreign Policy, December 7, 2020)

(<https://foreignpolicy.com/2020/12/07/china-weak-dangerous-china-nightmare-dan-blumenthal-review/>)

Foreign Policy, December 7, 2020

Matthew Kroenig, Jeffrey Cimmino

12月7日付の米シンクタンク Foreign Policy Research Institute のウェブサイトは米シンクタンク The Atlantic Council, the Scowcroft Center 副所長で Georgetown University 教授 Matthew Kroenig と The Scowcroft Center Global Strategy Initiative のプログラムアシスタント Jeffrey Cimmino の “China Is Both Weak and Dangerous” と題する論説を掲載し、ここで Kroenig らは中国という特異な国家の強権性と脆弱性について、Dan Blumenthal の著書 *The China Nightmare: The Grand Ambitions of a Decaying State* を引用しつつ論ずる中で、COVID-19 のパンデミックが米中の競争関係を激化させたこと

について言及している。

- (3) 12月16日 U.S. Role in the World: Background and Issues for Congress U.S. Role in the World: Background and Issues for Congress (Congressional Research Service, December 16, 2020)

(<https://fas.org/sgp/crs/row/R44891.pdf>)

Congressional Research Service, December 16, 2020

米議会調査局は12月16日付で“U.S. Role in the World: Background and Issues for Congress”と題する国際社会における米国の役割に関する調査報告を公表し、その1節に“Potential Impact of COVID-19 Pandemic”の項が設けられ、COVID-19のパンデミックは国際社会に長期的変動をもたらす可能性があり、米国が果たすべき役割は大きいとして同局がこれまで随時提示してきた関連の報告書を参照するよう提言している。

- (4) 12月17日 How Covid-19 Affected U.S.-China Military Signaling (Asia Maritime Transparency Initiative, CSIS, December 17, 2020)

(<https://amti.csis.org/how-covid-19-affected-u-s-china-military-signaling/>)

Asia Maritime Transparency Initiative, CSIS, December 17, 2020

12月17日付の米シンクタンク Center for Strategic and International Studies(CSIS), Asia Maritime Transparency Initiative(AMTI)のウェブサイトは“How Covid-19 Affected U.S.-China Military Signaling”と題する記事を掲載し、COVID-19のパンデミックが米中対立を激化させた状況、特に南シナ海における軍事的行動の件数に関する定量的比較などの分析結果を提示している。

(了)